



とくしま 県議会だより

第106号【年4回発行】

令和2年8月9日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



新型コロナウイルス感染症に係る対策の強化について 知事へ緊急要望

令和2年4月17日・5月27日

県議会の全会派が、知事に対し、新型コロナウイルス感染症対策に係る要望を行いました。

緊急事態宣言が全国に発令された翌4月17日には、医療体制の強化や、学校休業に対する支援など、新型コロナウイルス感染症への迅速な対応について要望を行い、5月27日には、県民の命と生活を守りながら、県内経済を確かな回復基調へ導くため、既決予算の積極活用を含む、緊急の要望を再度行いました。

要望事項は、4月臨時会での補正予算や6月補正予算へ反映され、総額624億円の対策予算を可決しました。

県議会としては、引き続き、新たな国難である新型コロナウイルス感染症の拡大防止と県内経済の回復に向け、全力を傾注してまいります。



4月臨時会の概要

令和2年4月30日、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に呼応した県の補正予算を速やかに審議するため、臨時会が招集されました。

知事から、「緊急支援フェーズ」として編成された4月補正予算（一般会計4月補正予算規模：330億円）が提案され、原案どおり可決しました。

また、新型コロナウイルス対策に危機感を持って対応する必要があることから、「防災対策特別委員会」の付議事件に「感染症対策に関する調査」を追加し、名称も「防災・感染症対策特別委員会」へ変更しました。

そのほか、「新型コロナウイルス感染症から地方の生活と経済を守るための対策強化に関する意見書」を議員提出し、可決しました。



6月定例会の概要

会期 令和2年
6月15日～7月6日

開会日には、新型コロナウイルス感染防止緊急対策を柱とした6月補正予算などが提案され、感染症に強い徳島の創造や、ダム運用の進化による治水対策の強化などの重要課題について、所信が述べられました。

さらに、閉会日には、国の第二次補正予算に即応した新型コロナ対策緊急対応として補正予算が追加提案されました。

代表・一般質問では、新型コロナウイルス感染症に関し、県の予算措置、雇用の維持・確保や事業者への支援等の経済対策、医療・検査体制の充実、人権侵害への対応、ひとり親家庭やDV被害者への支援、農畜水産物の生産者支援、教育環境の整備等について、そのほか、消費者行政・消費者教育の推進、道路の整備促進などについて論議しました。

今定例会では、「米国軍用機の低空飛行中止を求める意見書」を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案23件を原案どおり可決・同意しました。

主な審議の結果

●可決・同意された議案

○令和2年度補正予算

・一般会計（3件）／補正予算額は302億2,773万3千円の増額及び20億5,824万6千円の減額で、補正後の予算は、5,467億6,292万5千円

○条例の改正（15件）

・職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 など

○契約案件（2件）

○人事案件（3件）

●可決された意見書（1件）

・米国軍用機の低空飛行中止を求める意見書

提出議案や各議員の表決態度については
県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要

検索



代表・一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

知事の答弁 関係部局の答弁

代表質問

コロナと共生する感染症に強い徳島づくりの実現を

かみひろゆき 嘉見博之

(徳島県議会自由民主党)



問 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波に備え、医療提供体制の拡充強化とともに、コロナと共生する感染症に強い徳島づくりをいかに実現していくのか。

答 入院受入病床の上積みやPCR検査体制の充実強化等とともに、スマートライフの導入促進により、感染症に強い徳島づくりを実現する。

問 今回の長期にわたる学校の臨時休業から得た教訓を生かし、高校生への一人一台端末を実現させ、いつもの授業がオンラインで受けられる新たな教育環境を構築すべき。

答 地方創生臨時交付金により、一人一台のタブレット端末を県が確保し、県立高校及び特別支援学校高等部の全ての生徒に無償で貸与する。

問 四国横断自動車道の全線開通に向け、津田以南の整備について見直しを持ち進め

答 立江・榑瀨・阿南間の先行供用や新居見トンネル早期着工に向け、これまで積み重ねた予算規模を確保し、一日も早い全線開通に取り組む。

問 新型コロナウイルスとの長期戦に備え、切れ目のない対策を

みなみ つねお 南 恒生

(徳島県議会自由民主党)



問 新型コロナウイルスによる傷跡は深く、回復の兆しさえ見えない状況。県議会全会派からコロナ対策の要望を受け、どのような創意工夫を凝らした対策を講じるのか。

答 事業の大胆な見直しによる財源捻出や財政調整基金の活用等により、検査・医療提供体制を強化し、第2波以降への備えを万全にする。

問 消費者庁新未来創造戦略本部が7月にも開設される。消費者行政・消費者教育のさらなる進化と情報発信が重要と考えるが、戦略本部と連携し、どのように推進するのか。

答 徳島を実証フィールドに、先駆的なプロジェクトを加

速するとともに、国際消費者フォーラムをオンデマンド配信により国内外へ発信する。

問 スポーツの力で地域に活力をもたらすには、選手等のニーズを捉え、「新しい生活様式」に対応した施策を推進できる組織体制が必要。スポーツ推進体制強化の取り組みは。

答 県スポーツ協会と県スポーツ振興財団の持つ強みを一元化することにより、相乗効果を発揮できるように、両法人の統合に着手する。

新型コロナウイルス感染者等及びネット上の人権侵害への対策を

しやうのまさひこ 庄野昌彦

(新風とくしま)



問 新型コロナウイルス感染等及びそのご家族、医療従事者などへの偏見や差別、また悪質な誹謗中傷等のインターネット上の人権侵害に対し、どのように取り組むのか。

答 思いやりでコロナに打ち勝つメッセージ動画を作成し、啓発を強化。インターネット上の人権侵害相談日を設置し、きめ細やかな支援を行う。

問 県民のさらなる動物愛護思想の確立と助けられる犬・猫の殺処分ゼロを目指し、動物愛護法一部改正への対応も含め、今後どう取り組むのか。

答 市町村等と連携し、犬・猫の多頭飼育の実態把握に努め、適切な助言・指導を実施。ペット販売時のマイクロチッ

プ装着・登録の義務化等の新たな制度の研修や周知を図る。

問 徳島木のおもちゃ美術館について、県民に親しまれる木育の拠点として、また、コロナ収束後に、全国から訪れる誘客拠点を目指し、どのように整備していくのか。

答 赤ちゃん木育広場や林業体験の場、ミニ農村舞台などの配置を計画。あすたむらんどなどの新たな中核拠点とし、県内外からの誘客につなげる。

新型コロナウイルスの第2波、第3波に備えた検査体制の充実を

とうじょうきよこ 東条恭子

(新しい県政を創る会)



問 新型コロナウイルスの第2波、第3波に備え、感染拡大防止の取り組みが急務である。より迅速な検査、医療従事者の人材育成など検査体制の充実を。

答 県医師会と連携し、ドライブスルー方式の検査を実施。歯科医師も対象とした研修会で人材の確保と育成を図る。また、医療機関へ検査機器の配備を進め、処理能力を増強する。

問 新型コロナウイルスに負けない免疫力を高める食生活が求められる中、有機野菜などの生産支援やこれらの農産物を活用し、「健康県!とくしま」に向けた、食に力を注ぐ施策を。

答 営農相談や技術指導、販売支援等により有機農業を推進するとともに、地域住民への個別訪問を実施し、野菜採

特別委員会

6月定例会委員会の概要

常任委員会

総務委員会

公安委員会関係では、高齢運転者の交通事故防止対策、あおり運転の厳罰化について、そのほか、**新型コロナウイルス感染症**に関し、**未来創生文化部関係**では、スポーツ団体等の活動状況、児童養護施設のオンライン学習支援について、**経営戦略部・監察局関係**では、補正予算の追加編成について、**政策創造部関係**では、移住施策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

文教厚生委員会

新型コロナウイルス感染症に関し、**保健福祉部・病院局関係**では、今後の感染拡大に備えた対応、生活福祉資金貸付制度の周知や窓口の体制強化について、**教育委員会関係**では、オンライン教育環境の整備、県立学校生のJR利用状況調査と臨時バスの運行について、そのほか、総合寄宿舎等における衛生対策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

経済委員会

労働委員会関係では、労働相談の状況と体制の強化について、**商工労働観光部関係**では、WITH・コロナ「新生活様式」導入応援助成金や雇用調整助成金の利用促進、企業誘致の取り組み、秋の阿波おどりの実施について、**農林水産部関係**では、ターnteーブルの運営状況と今後の取り組み、外来生物による被害と対策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

県土整備委員会

県土整備部関係では、建設工事従事者の就労環境の改善に向けた計画の策定、新広域道路交通ビジョン・計画の策定について、**企業局関係**では、駐車場事業における運営方針の検討状況について、**危機管理環境部関係**では、新型コロナウイルス感染症県内6例目感染者への対応、危機管理調整費の執行状況、避難所運営についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

地方創生対策特別委員会

ターnteーブルに関し、運営状況等の成果検証、WITH・コロナを見据えた今後の取り組み、当施設を核とした県産品の販売強化等について、質疑がありました。そのほか、とくしま応援割と連携した徳島の食のPR、新型コロナウイルス感染症対策での3密回避に関し、海水浴場でのガイドラインやマラソン大会での基準などについて、質疑や提言がありました。

防災・感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症に関し、県内6例目感染者への対応、4月補正予算計上事業の進捗状況、入院受入病床の確保等医療提供体制の整備や広域医療連携等について、質疑がありました。そのほか、勝浦川の堆積土砂対策、土砂災害の現状と対策、とくしまシェイクアウト(県民一斉防災行動訓練)の概要、災害時の電気・通信の確保などについて、質疑や提言がありました。

消費者・環境対策特別委員会

本県の風力発電の稼働及び計画進捗状況、勝浦町・那賀町・海陽町など県南2カ所の風力発電事業計画に係る環境影響評価、発電量に占める火力発電の割合、温室効果ガス排出抑制への取り組みについて、質疑がありました。そのほか、レジ袋有料化に伴うマイバッグ持参率の向上、SNSを活用した消費生活相談などについて、質疑や提言がありました。

次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

保育所等入所待機児童の状況及び待機児童解消に向けた県の取り組み、企業主導型保育施設の現状と県の対応、保育の必要性の認定要件、ひとり親家庭子育て応援事業について、質疑がありました。そのほか、コロナ禍における高齢者施設の状況、児童虐待の状況及び児童相談所の職員体制、中学・高校総体等の中止に伴う対応などについて、質疑や提言がありました。

取の重要性を周知・啓発する。

問 新型コロナウイルス状況下において、DV相談件数が増加している。民間支援団体をはじめとする関係機関との連携を含め、DV被害者支援にどのように取り組むのか。

答 電話相談を24時間化し、積極的に広報を実施。また、自治体・警察・民間団体等関係機関の連携を強化し、きめ細やかな取り組みを推進する。

一般質問

eスポーツを地方創生のツールとして活用すべき

須見一仁

(徳島県議会自由民主党)



問 全国に先駆けeスポーツに取り組んでいる本県は、さらに産学民官と広く連携し、先進的な取り組みを展開する等、eスポーツを地方創生のツールとして大いに活用すべき。

答 8月中旬に5日間連続で「オンラインeスポーツ知事杯」を開催。今回の取り組みによる成果等を分析し、全国規模の大会へと成長させたい。

問 加齢による心身の活力低下を予防するフレイル対策は、高齢者の健康維持やいきがづくりの観点からも非常に重要だが、今後の取り組みは。

答 運動・栄養・口腔機能・社会参加の維持向上を目的としたフレイル予防の動画作成、

配信を開始。新たな地域の通いの場の創出支援等、生活ニ

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、休業や人員整理等により経済的困窮が増しているひとり親家庭の現状は深刻なものとなっている。今後どのように支援体制を強化するのか。

答 給食食材納入事業者等から購入した県産食品を希望家庭に無償配布。子育て等の不安解消のため、SNSによる相談や情報提供等、支援を強化する。

ICTを活用し学校における読書活動の推進を

元木章生

(徳島県議会自由民主党)



問 子ども達の読書離れは深刻であり、健全な育成や学力向上のため、学校図書館の電子化等、ICTを活用した読書活動の推進を図るべき。

答 県立図書館の電子書籍閲覧サービスを活用し、県立学校の全児童生徒が自分のスマートフォン等から利用する「県立学校電子図書館」を、7月中旬開始を目途に準備する。

問 「新しい生活様式」に対応しつつ、高齢者・障がい者が必要とする福祉サービスを提供するため、施設等に対してどのような支援を行うのか。

答 職員の負担軽減や感染リスク低減に資する介護ロボット、オンライン面会、タブレット端末や業務管理システ

ムの導入に加え、施設内感染を想定した事前準備を進める。

問 イベント自粛等で花き需要が低迷し、苦境にある花き産地の維持に向け、生産振興と需要回復の支援が必要と考えるが、今後の取り組みは。

答 全国知事会を通じた提言で、交付単価が大幅に引き上げられた国交付金の利用促進を図る。また、「県産花きの需要喚起応援事業」により、PR展示等を行い需要回復を図る。

新型コロナウイルス対策で、休業要請を行わなかったことの検証を

山田豊

(日本共産党)



問 新型コロナウイルスによる外出自粛等で飲食業を中心に大きな打撃を受けた。全国で唯一、事業者への休業要請を行わなかった検証を早期に行うべき。

答 本県の状況と国の方針に照らし、法に基づく休業要請ではなく、県をまたぐ移動の自粛や県外客にご遠慮いただく対応の徹底をお願いし、感染を最小限に食い止めてきた。

問 県有施設は事業者への家賃免除が行われたが、民間では、家賃を支払えない事業者や貸主も深刻な状況が続いている。民間施設においてもテナントへの家賃支援を。

答 テナント料の減免等を促すため、国が不動産所有者への支援策を実施。また、全国知事会から提言の結果、新たな家賃

支援給付金制度が創設される。

問 コロナ禍の中、生活困窮者が増えている。生活保護制度の弾力的な運用を自治体に助言するとともに、ためらわずに申請してほしいというメッセージを県民に発信すべき。

答 今後とも、受給者の権利保護や個々の状況に応じた柔軟な支援に取り組むとともに、県ホームページをさらに充実し、制度周知に努める。

とくしまスマートライフ宣言

～「新しい生活様式」を取り入れた「感染症に強い徳島」づくり～



用語解説

※1【スマートライフ】

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、一人ひとりが感染防止の3つの基本である
①身体的距離の確保
②マスクの着用
③手洗い
や、3密(密閉、密集、密接)を避ける等の対策を取り入れた新しい生活様式。

※2【オンデマンド配信】

あらかじめ専用のサーバに蓄積されている動画ファイルにアクセスすることにより、利用者がいつでも好きなときに好きな動画を視聴することができる配信方式。

※3【eスポーツ】

「エレクトロニック・スポーツ」の略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

※4【SNS】

「Social Networking Service」の略で、参加者が共通の興味、知人などをもとに様々な交流を図ることができるよう、個人間の交流を支援するインターネットのサービスのこと。

※5【ICT】

「Information and Communications Technology」の略で、情報や通信に関する技術の総称のこと。

インターネットで議会中継が見られます

県議会のホームページでは、本会議の様を生中継及び録画配信しています。

議場における各議員の質問の様子を映像と音声で見聞きすることで、議論されている県政の課題をより身近に感じただけです。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができますので、是非ご覧ください。

なお、代表・一般質問の前日に、質問項目と要旨(予定)をホームページに掲載しています。

徳島県議会 インターネット中継

検索



県議会だより「点字版」をはじめました

県議会では、目の不自由な方に、県議会の活動をより知っていただくため、「県議会だより」の録音版(カセット・CD)を発行していましたが、今年度から新たに点字版もはじめました。

ご希望の方は、次のところへご連絡ください。

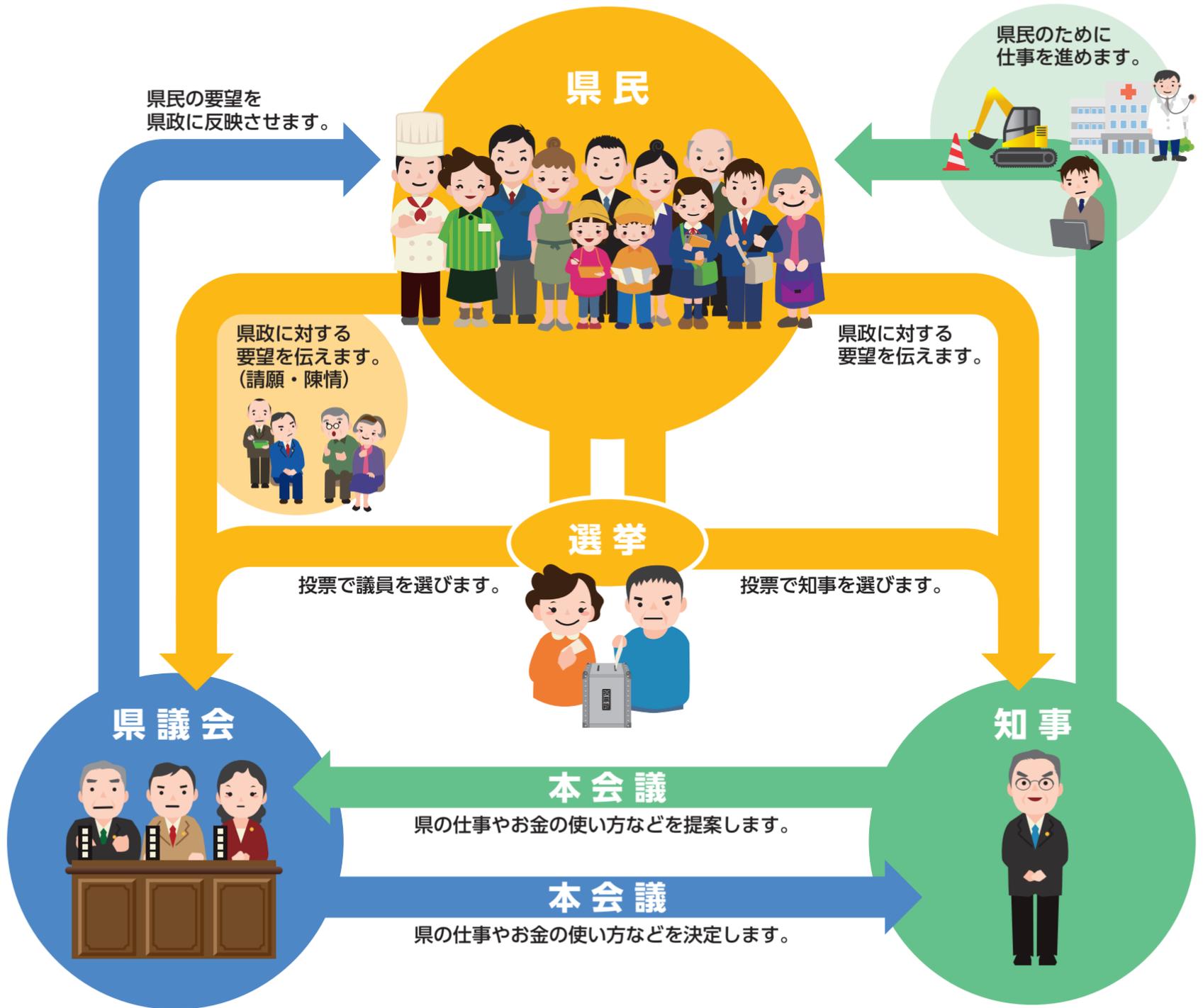
連絡先/障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター
徳島市南矢三町2丁目1-59(徳島科学技術高等学校前)
TEL:088-631-1400

なお、県議会ホームページに、県議会だよりのPDF版に加え、音声版も掲載していますので、ご利用ください。



県議会のしくみ

県議会は、県民の代表として選挙で選ばれた県議会議員が集まり、県民の声を県政に反映させ、よりよい徳島県にするために話し合いをするところです。



県議会ではこのような仕事をしています

議決

- ・条例(県政に必要な決まり)の制定・変更・廃止を決定します。
- ・予算(県政に必要なお金の使い方)を決定します。

調査

- ・県の仕事が県民のために行われているかを調べます。

同意

- ・知事が、副知事や教育長など県の重要な地位に就く人を任命する場合には、議会の同意が必要です。



意見書の提出

- ・県民の声を国政に反映させるため、国会や国の行政機関に意見書を提出します。

請願の審議

- ・請願(県政についての県民からの意見や要望)を審議し、必要と判断したものは県政に反映させます。



議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。

令和2年9月定例会の日程

- 9月7日 …………… 常任委員会
- 9月9,10日 …………… 特別委員会
- 9月11日 …………… 本会議(開会)
- 9月16日 …………… 本会議(代表質問)
- 9月17,18日 …………… 本会議(一般質問)
- 9月24,25,28,29日 …… 常任委員会
- 9月30日,10月1日 …… 特別委員会
- 10月7日 …………… 本会議(閉会)

●この広報紙は、新聞折り込みによりお届けしています。また、市役所、町村役場、総合県民局、県合同庁舎、県庁ふれあいセンター及び県議会事務局でもお渡ししています。

議会クイズ



正解者の中から抽選で10名様に、「徳島県産あきさかり」(5kg)と県立近代美術館常設展ペア入場券をセットにして、プレゼントいたします。

Q 県議会議員は、〇〇の代表として△△により選ばれた人たちで、よりよい徳島県にするためにさまざまな活動をしています。〇〇と△△には何が入るでしょうか。

- ①国民・知事 ②県民・選挙 ③市民・市長

ヒントは紙面上にあります

●応募方法: はがき、電子メール又はファクシミリでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。

※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。

●応募先: 〒770-8570(住所記入不要) 徳島県議会事務局 政策調査課
メールアドレス: gikaijimukyoku@pref.tokushima.jp
ファクシミリ: 088-655-2530

●締切: 令和2年9月30日(水)消印有効
(当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

徳島県産あきさかり(5kg)

徳島県の奨励品種で、ほどよい粘りとほのかな甘みが特徴です。令和元年産米の食味ランキングにおいて2年連続の「特A」評価を受けました。

【提供】
全国農業協同組合連合会
徳島県本部



10名様に
プレゼント!



県立近代美術館常設展
ペア入場券